

我南小発 第37号

令和6年3月8日

我孫子市教育委員会 へ

我孫子市立布佐南小学校学校運営協議会

会長 志垣 健二郎

令和5年度 第4回学校運営協議会 会議報告書

このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第12条の規定により、次のとおり報告します。

出席委員氏名：【布佐中】篠崎和彦，山下正信，松島紀，香取武，比江嶋眞友巳，鈴木伸樹，森政俊光，肥後真理子

【布佐小】鈴木治男，小島茂明，鈴木高士，板倉博，沼尻和江，小林道治，石川清隆，日景翔大

【布佐南小】佐々木祐子，山田恭生，糸賀貴之，志垣健二郎，駒場アサ子
新堀 都

記録者 氏名 全体の部 肥後真理子（布佐中学校教務主任）

各校の部 糸賀貴之（布佐南小学校教務主任）

（令和6年 3月6日実施）

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
1. 開式の言葉	校長	・令和5年度第4回布佐中学校区学校運営協議会を開会する。
2. 会長あいさつ	会長	・布佐中区として実りのある一年となった。 ・これからも、校内行事等を委員で情報共有していきたい。 ・来期に向けてさらに充実した会議にしたい。
3. 協議 ①各校の学校運営協議会を振り返って	会長	・布佐小では、運動会を全校で応援できた。 ・150周年記念 ・松倉校長の石碑掃除を6年生全員で行った。 ・昔遊びの授業後、1年生と給食と一緒に食べる機会をいただいた。
	会長	・毎日の登校見守り等を通して、児童との会話が増えてきた。 ・ミシンの操作や昔遊びの授業を行った。 ・現場の先生方の意見が出てきたので、地域としてどのように動いたらよいかを模索することができた。
	会長	・教育ミニ集会では、原先生の講義・グループでの意見交換を行った。 ・歌声交歓会や合唱祭に参加し、保護者と顔合わせをすることができた。生徒たちは演奏会後に自分たちの意

②令和6年度小中一貫教育の年間計画について	教諭	<p>見を述べていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月には、部活動の部長等の代表生徒と意見交換をすることができた。 ・家庭科の調理実習ボランティアを行い、イワシのかば焼きづくりに挑んだ。 <p>・来年度の予定は資料の通りである。変更がある場合は、4月にお伝えする。</p> <p>・来年度は10月に3校合同レク大会を予定している。</p>
③令和6年度グランドデザインについて	校長 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には今年度と変わらない。「協働」の漢字を我孫子市や指導要領に則って統一させる。この形で承認していただきたい。 ・承認いただけるか。 <p>⇒全会一致で承認</p>
④質疑及び意見交換	副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインがたいへん素晴らしいので、もっと多くの方々に知ってもらいたい。ミニ集会や広報活動で広めたい。 ・小中一貫教育実施計画では、プロジェクト部会の段階で、地域学校協働本部推進員からの意見を擦り合わせたい。
4. 閉会	校長	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインの周知は、保護者や新入生へ伝える機会はある。地域については、ホームページを通して伝えたい。ミニ集会の議題になるかどうかは、会長等と相談していきたい。
	会長	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回のプロジェクト部会で、岡田博士生誕150周年について、ぜひ何か載せてほしい。
	会長	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方はいろいろと忙しい。そのため、新しいことを作るのではなく、地域が要望を聞いていきたい。
	校長 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・岡田博士の件は、夏季研修会の中で取り上げようかという話が出ている。前向きに検討したい。 ・地域との連携をこれからも密にしていきたい。 ・学校評価アンケートの公開方法が3校で異なっている。個別の保護者の意見については、各校で足並みを揃える、また文科省からも示されているので、「直接載せない」という形で承認を取りたい。 ・承認いただけるか。 <p>⇒全会一致で承認</p>
4. 閉会	校長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度第4回布佐中学校区学校運営協議会を閉会する。

<p>※南小のみで実施</p> <p>5 協議</p> <p>①経営方針の振り返り</p>	<p>校長</p>	<p>○今年度も“笑顔 と 活気 で やってみよう”をテーマに教職員一同チームとなって教育活動に取り組んできた。この合言葉がより児童に浸透し、児童が多くの学校行事で活躍し、自分の力をより高める姿があふれる学校のために、毎月の全校朝会や学校行事の際には、この合言葉を児童へ呼びかけ、児童も大きな声で唱えることができる。また、今年度は、ミシンやのこぎりボランティア、読み聞かせ活動や七夕集会、昔遊び体験など、学校と地域を結びつける取組を多く設けることができた。</p> <p>○本校の今年度の学力については、どの学級も落ち着いて学習に取り組むことができ、学習に意欲的に取り組むことができている。また、昨年12月に全学年実施した標準学力調査で、基礎学力の定着に課題があることが分かった。来年度は、基礎学力の向上に焦点を当て、職員の研修に取り組んでいく。</p>
<p>②3学期の教育活動</p>	<p>教務</p>	<p>○体力向上の取組みについては、新体力テストの結果では向上が見られた本校児童数の約9割以上の児童が「体育が楽しい」と回答しており、引き続き児童の健やかな育成について、学力面や体力面からもより高められるように目指していく。</p> <p>○3学期も多くの学校行事を実施することができた。書き初め大会、安全教育（ワンポイント避難訓練・不審者対応・5年生応急手当チャレンジコース）、読み聞かせ活動（朗読劇）・6年生校外学習（国会議事堂）・5年生校外学習（現代産業博物館）などを、保護者や地域の皆様の御理解、御協力のもと実施することができた。</p>
<p>③学校評価結果報告</p>	<p>教頭</p>	<p>※学校評価アンケートの結果をもとに昨年度と比較して向上した点や課題点の確認を行った。</p> <p>○学校評価アンケートの最後に、本校の児童が書いた“南小の自慢できるところ”を記載している。多くの児童が「学習が楽しい」「友だちと勉強することが楽し</p>

④質疑及び提言	委員	<p>い」「給食が美味しい」と回答している児童が多い。これは、引き続き大切にしていくことであると同時に、我々教職員の“誇り”でもある。令和6年度も“笑顔と活気でやってみよう”をテーマに教育活動に取り組んでいく。</p>
	会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、年間を通して、学校と地域との結びつきがより深まったと強く感じる。まさに「地域とともに歩む学校」であり、素晴らしいと感じる。 ・1年間で南小が、更によくなったと感じる。
	教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・その通りで、地域の方の多くが学校での活動の後に「楽しかった」「また活動していきたい」と話す方がほとんどであった。
	委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、会長を中心に学校と地域の結びつきがより深まり、健やかな児童の育成につながった。地域の皆様に感謝の思いである。 ・地域の皆様との活動は、布佐南小学校のHPにも掲載し、より広く周知できるように今年度は努めてきた。学校評価アンケートの結果（学校の様子・情報を積極的に知らせている）からも保護者の皆様の回答から肯定的な回答が得られている。
	委員	<ul style="list-style-type: none"> ・布佐中学校区の小中一貫教育のグランドデザインについては、なかなか保護者に浸透していないように感じる。また、子どもたちも目指す15歳について理解していないように感じる。我々大人の考える15歳の子ども像と実際の布佐の子どもの実態にズレがあるのではないか。 ・4月の保護者全体会だけではなく、学級懇談会でも資料と共に保護者へ改めて説明・周知していく必要があるのではないか。
	校長	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会で説明・周知していく際には、南小の学習や行事などの具体的な取り組みが、グランドデザインのどの部分にあたるのかを示していくことが大切と

	<p>委員</p> <p>委員</p> <p>会長</p>	<p>考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員の構成についても、子育ての世代の保護者を入れた方が良いと感じる。子育て世代の保護者の方々が、今何を思い、何について悩みを感じているのかを把握する必要があると感じる。 更に保護者の理解と協力を得るためには、保護者へ必要なことをどこまで、どのように伝えていけばよいかについても検討していく必要があると感じる。 <ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議委員として、何ができるのかを考えて、子ども達や先生達の笑顔のために協力していきたい。 <ul style="list-style-type: none"> 我々は、学校運営協議委員であって、学校評議員ではない。ともに運営に参画する意識を持たなければいけない。しかし、学校に負担や迷惑をかけてしまうのは心苦しい。学校の求めに応じるというスタンスを大切にしたい。
<p>7 閉会</p>	<p>教頭</p> <p>校長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の地域との連携については、委員の協力に感謝しかない。今後も、地域と協働しながら、地域とともに歩む学校作りを進めていきたい。 <ul style="list-style-type: none"> 1年間の協力に感謝したい。 今後も“児童のよりよい成長のために何が必要で、何をすべきなのか”学校と地域が共に同じ立場で考え、取り組んで行く姿勢を来年度も大切にしていきたい。 現在、委員の皆様には、学校評議員から長期にわたり学校運営協議委員を務めていただいている。様々な世代からのご意見を反映できるように学校運営協議委員の構成について今後も考えていく。

傍聴人なし